

La Estación

ラ・エスタシオン

スペイン語で、局や駅の意。当誌が県内の国際交流・協力情報の発信地として、広く親しんでいただけるよう願いを込めてつけました。

Event Calendar1

12~1月

大分の国際交流団体の紹介.....2

NPO法人 大学コンソーシアムおおいた

JICAデスク大分からこんにちは.....2

「隊員体験記」

私たちの声を聞いてください!.....3

阿 娜 氏

おおいた国際交流プラザより.....3

「おおいた国際フェスタ2013が開催されました」



イベントカレンダー
DEC 12 JUN 1

プラザのカウンセリング・各種相談のご案内

中国語無料相談

毎週木曜日

時間：10:00～13:00 会場：国際交流プラザ

予約：不要 相談料：無料

相談員：兒玉 文玉（こだま うえんゆう）

※県内在住中国語圏の方のための無料相談です。

タガログ語無料相談

毎月第1土曜日と第3火曜日

時間：13:00～16:00 会場：国際交流プラザ

予約：不要 相談料：無料

相談員：吉武 ロドラ（大分県フィリピン友好協会 会長）

※県内在住フィリピン人の方のための無料相談です。

在住外国人のための無料相談

毎月第3水曜日

時間：13:00～16:00 会場：国際交流プラザ

予約：不要 相談料：無料

※ただし、日本語、英語以外による相談は、通訳手配のため、2日前までに要予約。

相談員：伊藤 精（行政書士）

※県内在住外国人のための無料相談です。

入国・在留国籍手続無料相談

毎月第1日曜日

主催：外国人 Life Support 時間：13:00～16:00

会場：国際交流プラザ 予約：必要 相談料：無料

対応言語：日本語・英語

※主として法律相談ですが、それ以外の内容でもお困りの場合はご来館ください。また、相談内容が外にもれることはありません。お知り合いの外国籍の方がトラブルや悩みを抱えている場合には、その方にぜひお伝えください。

在住外国人のための無料健康相談

偶数月第3火曜日

主催：大分県済生会日田病院 時間：14:30～15:30

会場：国際交流プラザ 予約：不要 相談料：無料

○健康が不安、どこに相談すればいいの？

○体調が悪いけど、医療費の支払いが心配。

県内在住外国人で、低所得（住民税非課税世帯等）の方、失業等による急な所得低下の方、DV被害の方、医療費にお困りで病院を受診できない方、医療や福祉に関する相談など、ぜひご利用ください。

※健康保険証をお持ちの方は、当日持参してください。



DEC



1日（日）入国・在留国籍手続無料相談

時間：13:00～16:00 会場：国際交流プラザ

主催：外国人 Life Support



5日（木）中国語無料相談

時間：10:00～13:00 会場：国際交流プラザ



7日（土）タガログ語無料相談

時間：13:00～16:00 会場：国際交流プラザ



8日（日）「企業と留学生の交流フェア」

時間：①13:30～ 第1部セミナー「グローバル人材活用事例の紹介」
②14:30～ 第2部ブースセッション

場所：レンブラントホテル大分 2階

申込・問い合わせ先：大学コンソーシアムおおいた

TEL 097-578-7400



12日（木）中国語無料相談

時間：10:00～13:00 会場：国際交流プラザ



17日（火）タガログ語無料相談

時間：13:00～16:00 会場：国際交流プラザ



17日（火）在住外国人のための無料健康相談

時間：14:30～15:30 会場：国際交流プラザ

※健康保険証をお持ちの方は、当日持参してください。

お問合せ：大分県済生会日田病院 TEL 0973-24-1100



18日（水）在住外国人のための無料相談

時間：13:00～16:00 会場：国際交流プラザ



19日（木）中国語無料相談

時間：10:00～13:00 会場：国際交流プラザ



21日（土）国際理解講座②「イタリア編」

時間：19:00～20:30

場所：iichiko総合文化センター地下1階 映像小ホール



26日（木）中国語無料相談

時間：10:00～13:00 会場：国際交流プラザ

JUN



9日（木）中国語無料相談

時間：10:00～13:00 会場：国際交流プラザ



11日（土）タガログ語無料相談

時間：13:00～16:00 会場：国際交流プラザ



15日（水）在住外国人のための無料相談

時間：13:00～16:00 会場：国際交流プラザ



16日（木）中国語無料相談

時間：10:00～13:00 会場：国際交流プラザ



21日（火）タガログ語無料相談

時間：13:00～16:00 会場：国際交流プラザ



23日（木）中国語無料相談

時間：10:00～13:00 会場：国際交流プラザ



30日（木）中国語無料相談

時間：10:00～13:00 会場：国際交流プラザ

大分の国際交流団体の紹介

「NPO法人 大学コンソーシアムおおいた」

NPO法人 大学コンソーシアムおおいたは大分県内の大学・短大・高専・専門学校と、行政、経済団体等が加盟するNPO法人で、平成16年10月から活動しています。

県内に在住している留学生の様々なサポートを行うとともに、県民と留学生との交流を促進し、国際性あふれる人材の育成や活力ある地域づくりに寄与することを主旨としています。

交流プログラムでは、「留学生が教える語学教室」「留学生と作る各国料理教室」「留学生による国際理解教室」「ホストファミリー紹介」「中高生むけ英語サマースクール」などがあり、どれも参加者が多く、ご好評いただいております。また、留学生のスピーチコンテスト・地域提言シンポジウムなどのイベントを実施したり、留学生むけの就職の支援プログラムや、リユース物品紹介なども行っています。

個別に、地域の方々や企業、団体、個人の方が、通訳や翻訳、教育、ビジネス・観光などに留学生を募集したい時に利用できる「留学生人材情報バンク (ACTIVE-NET) (<http://activenet.ucon-oita.jp/>)」システムの管理運営も行っておりますので、留学生に来てもらいたい、手伝ってもら

■理事長 北野 正剛

■事務局 大分市金池南1丁目5番1号ホルトホール大分2階

■電話 097-578-7400 ■E-mail info@ucon-oita.jp

■ホームページ <http://www.ucon-oita.jp/>

いたい事がある場合は、お気軽にご相談ください。

大分県でさまざまなことに参加し、大分の地域で育った留学生は、大分県が好きになってくれると感じています。それが就職や定住に繋がり、また日本を離れたとしてもずっと日本や大分の魅力を語ってくれる重要な人物になると思っています。できるだけ地域や企業と接点を持ち、お互いを理解するための出会いの場を多く設けることが我々の役割だと思い、活動しています。

料理や語学、文化講座など、身近な国際交流から、ぜひご参加おまちしています。開催スケジュール等はお気軽にお問合せください!

12月8日(日)は「企業と留学生の交流フェア」を開催。参加企業さまを募集中です。



ジャイカ デスク大分 からこんにちは

大分県から派遣されている青年海外協力隊(20歳から39歳まで)は12名、シニア海外ボランティア(40歳から69歳まで)は4名、合計16名の方が、アジア、アフリカ、中南米、大洋州の15か国で活躍中! (2013年11月1日現在) 今回は、南米のパラグアイで青年海外協力隊(コミュニティ開発)として活動した井門智子(いど ともこ)さん(大分県杵築市出身)の現地での活動の様子などをインタビュー形式でお伝えします。

■青年海外協力隊への参加のきっかけを教えてください。

学生時代にアルゼンチンとパラグアイへ2か月間NGOのボランティアに参加した経験があり、いつかは長期で海外ボランティアとして行ってみたいと思っていました。

■パラグアイはどんな国ですか?

日本の反対側の南米大陸の真ん中に位置する内陸国パラグアイに2011年より2年間行っていました。飛行機を乗り継いで30時間かかります。首都はアスンシオン。面積は日本とほぼ同じで、人口は約630万人で、千葉県の人とほぼ同じです。穏やかでんびりとした雰囲気があります。主食はマンデイオカと呼ばれる芋。大豆・小麦などの輸出が盛んな農業国です。

■具体的にどんなことをしていましたか?

ペルベトウオソコロ農協と呼ばれる農業系NGO団体にて、農家の生活向上のため、農作物直売市の運営、家計簿、野菜調理、せつけん作りなどを、現地の方々と一緒に行っていました。

■現地の方々の気質は?

パラグアイ人は南米だけあってなんといってもサッカー大好き。老若男女、熱狂的に参加、応援します。なんでも共有することが大好きで、誕生日会など見知らぬ人でも飛び込み参加OK。踊ることも大好きで、パーティが終わった後でも家族、近所の人、友人たちと朝まで踊り続けます。

■青年海外協力隊に参加した感想をどうぞ。

文化や習慣、言葉の違いから悩んだこともありますが、



直売市参加者の主婦たち



一面に広がる小麦畑



調理講習会の様子
(右が井門さん)



配属先の同僚たち

ホームステイ先の家族や同僚たちの明るさに救われ本当に楽しく生活することができました。また、公用語はスペイン語とグアラニー語のバイリンガルでした。スペイン語よりも現地語のグアラニー語を話したほうが心を開いてくれることも多く、その地域の方言や現地語を理解することはコミュニケーションにおいて大変重要だと感じました。

また、現金収入を得るため、毎週の直売市に朝早くから参加する女性たちの姿を見て、やはり女性はどこにいても強いと思いました。そして自分サイズで個性豊かに生きている人々の姿を見て、人生の楽しい部分を見つめることの大切さを教えてもらいました。

■これからの抱負と、大分県のみなさんへメッセージをお願いします。

今後あらゆる機会を通じて、パラグアイでの2年間の発信できたと考えています。

そして、日本を離れて、客観的に見つめることができた日本のすばらしさも伝えていきたいと思います。多面的な価値観を知ることができる青年海外協力隊に、多くの方々に参加してほしいと思います。



〒870-0029 大分市高砂町2-33 iichiko総合文化センター地下1階 国際交流プラザ内
TEL: 097-533-4021 FAX: 097-533-4052 E-mail: jicadpd-desk-oitaken@jica.go.jp
JICA九州Facebookページ <https://www.facebook.com/jicakyushu>



よりよい明日を 世界の人々と



「内モンゴル若者の結婚事情」

阿 娜 氏

10月に私の兄が結婚しました。それで自分の結婚当時のこともいろいろと思い出しました。今年で私達はもう結婚5年目に突入しました。学校を出てからすぐ結婚したので、同年代の友達のなかでも早い方だと思います。結婚は世界のどこの国でも人生の一大事ですが、国によって結婚事情も大いに違いますので、ここで私の故郷である内モンゴルの最近の若者の結婚事情をみなさんに紹介します。

まず結婚相手のことに関してです。内モンゴルではいろんな民族の人がいます。結婚する時はやはりみんなそのことが気になります。生活習慣と文化背景、言語等々民族によって違う点が多いです。そして民族が一緒だと何も気にしなくても自然と話が合う場合もあります。意気投合したお二人さんは結婚すると決めたあと、まず両家であいさつをするのですが、それ以上に重要なことがあります。それは両家のおじいちゃんとおばあちゃんのおうちに行ってあいさつをすること。モンゴル族の家庭の中で、一番年上の人が一番重要であります。おじいちゃんとおばあちゃんのおうちで食事をしながら気楽なお話をするのですが、お話の最後におじいちゃんとおばあちゃんはプレゼントをくれるのです。その時が来たら、おばあちゃんとおじいちゃんは椅子に座って、その目の前に結婚する2人が立ちます。(その時に目上の人の前に出るときは着ている服のすべてのボタンを全部しめるのが礼儀です。) おばあちゃんたちがプレゼントを出してから、若者は頭を深々下げ両手を頭の上まで上げて、そのプレゼントを受け取ります。プレゼントの定番といえば、女の子に指輪といったアクセサリー、男の子には刃物やブーツあるいは鞭です。籍を入れてから結婚式を挙げるという習慣は一般的に日本と同じです。違うのは一般的な結婚式と結婚披露宴は一つだということ。そして教会で行うキリスト教的な結婚式もふつうはしないです。親せきと友達と同じ場所に集まって、お祝いをするだけです。新郎新婦はもちろん両家の両親も華やかな民族衣装を着て、モンゴル族伝統的な歌を演奏している中で皆の祝福を受けます。この日を持って新しい家庭を作り始めた夫婦になります。内モンゴルの夫婦の生活では、共働きの家庭が一般的ですが、やはり奥さんが家事をして夫を支えるという伝統的な部分もあります。

私達も同じように結婚して、平凡な家庭を築きました。今もキリスト教的な結婚式を見ると、ちょっとだけ憧れがあります。それでも各国の伝統的な結婚式は残っていてほしいです。日本の和式的な儀式も素敵だと思います。このような各国・各民族の結婚式はその国の人々の多彩の生き方を表していると思います。



おおいた国際交流プラザより

『おおいた国際フェスタ2013が開催されました』

10月20日(日)にiichiko総合文化センターアトリウムプラザにて、『おおいた国際フェスタ2013 ～世界をまるごと体験しよう!～』が開催されました。年に1度のプラザがお送りするこの一大イベント。5つの世界「見よう! 踊ろう! ～どきどきワールド～」 「食べよう! ～もぐもぐワールド～」 「知ろう! ～じゃばにーずワールド～」 「遊ぼう! ～わくわくワールド～」 「着よう! ～きらきらワールド～」と称し、ステージ体験、世界の食べ物体験、日本文化体験、世界の遊び体験、民族衣装体験の5つの体験ができるコーナーを設け、今年もまたとても楽しめる内容となりました♪

フェスタの会場は終始「人・人・人!」来場者でごった返し、大変な賑わいをみせていました。そんな中で2カ国語の司会によりステージパフォーマンスが繰り広げられました。インドネシア、フィリピン、タイの躍動感のあるパフォーマンス、華やかな踊りに魅了され、日本文化として茶道・華道・書道・もちつきの体験型パフォーマンスでも楽しむことができました。

また、フェスタ最後の民族衣装ファッションショーでは15カ国の民族衣装が勢揃い。お客さんによる飛び入り参加もありで、今年もたくさんの民族衣装の紹介ができました。

世界の遊び体験では、アメリカ、チュニジア、フィリピン、タイ、メキシコ、リトアニア、フランス、日本の8カ国の遊びを体験でき、子ども達にも大人気! シールラリーでシールを集めるともらえる外国国旗の缶バッジも子



ども達には大変喜んでもらえたようです。

そのほか、お菓子やお餅の無料配布、世界の料理レシピゲットのコーナーも大盛況で、味覚からの体験も楽しめたのではないのでしょうか。

大成功のうちに開催されました「おおいた国際フェスタ2013」。今年も国籍・年齢を問わずたくさんの方々にご来場・参加いただきました! たくさんの方の笑顔と笑い声で溢れた多文化・異文化の交流空間となりました。

来年も開催予定です。ぜひ「おおいた国際フェスタ2014」にもご期待ください♪

おおいた国際交流プラザ

La Estación ラ エスタシオン
2013 VOL. 46

発行日 平成25年11月30日(奇数月未発行予定)
編集・発行 (公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団
国際文化スポーツ振興課

〒870-0029 大分市高砂町2番33号 スペース ビー
iichiko総合文化センター地下1階 iichiko Space Be内
開館時間: 9:30~19:00
閉館日: 日曜日・祝日及び第2・4月曜日とその週
の土曜日※ただし閉館日が祝祭日の場合はその翌日
TEL: 097-533-4021 FAX: 097-533-4052
E-mail: in@emo.or.jp Twitter: @oitaplaza
Facebook: おおいた国際交流プラザ
URL: http://www.oitaplaza.jp/

